

リチウムイオン電池の 取扱いに注意しましょう！

身近にある様々な機材にリチウムイオン電池が使用されていますが、リチウムイオン電池が起因した火災が増えています。



【リチウムイオン電池を使用している機材の例】

- ・スマートフォン
- ・モバイルバッテリー
- ・携帯用扇風機
- ・ノートパソコン



リチウムイオン電池に使用される電解液は、消防法の危険物に該当します。

Q：なぜ、リチウムイオン電池で火事になるの？



A：リチウムイオン電池は外部からの衝撃が加わり、へこむなどすると、内部でショートが発生し、発煙や発火につながります。



リチウムイオン電池がつぶされることで、発火することを再現した実験の様子

リチウムイオン電池を使用した製品の気を付けるポイント

1. 衝撃を与えない

リチウムイオン電池を使用した製品は小型のものも多く、ポケットに入れたまま座ったために発火するという危険性があります。

2. 分解や改造などをしない

リチウムイオン電池を取り外せない構造の製品の場合、無理にこじ開けることで、発火の原因になる場合があります。

3. 一般ごみなどと一緒に捨てない

一般ごみなどと一緒に廃棄すると、ゴミ収集車で圧縮されることで火災につながる危険性があります。